



まちづくり人養成講座

～新しい時代の話合い入門～

第1講

2014年9月16日

人・まち・住まい研究所 浅見雅之

はじめに

自己紹介

自己紹介（その1）

名前：浅見雅之（あさみまさゆき）

経歴：1968年埼玉県東松山市生まれ

埼玉県立熊谷高校卒

北海道大学工学部建築工学科卒

大学院修士課程修了

1994年 いるか設計集団（神戸）入社

1995年 東灘区深江で被災

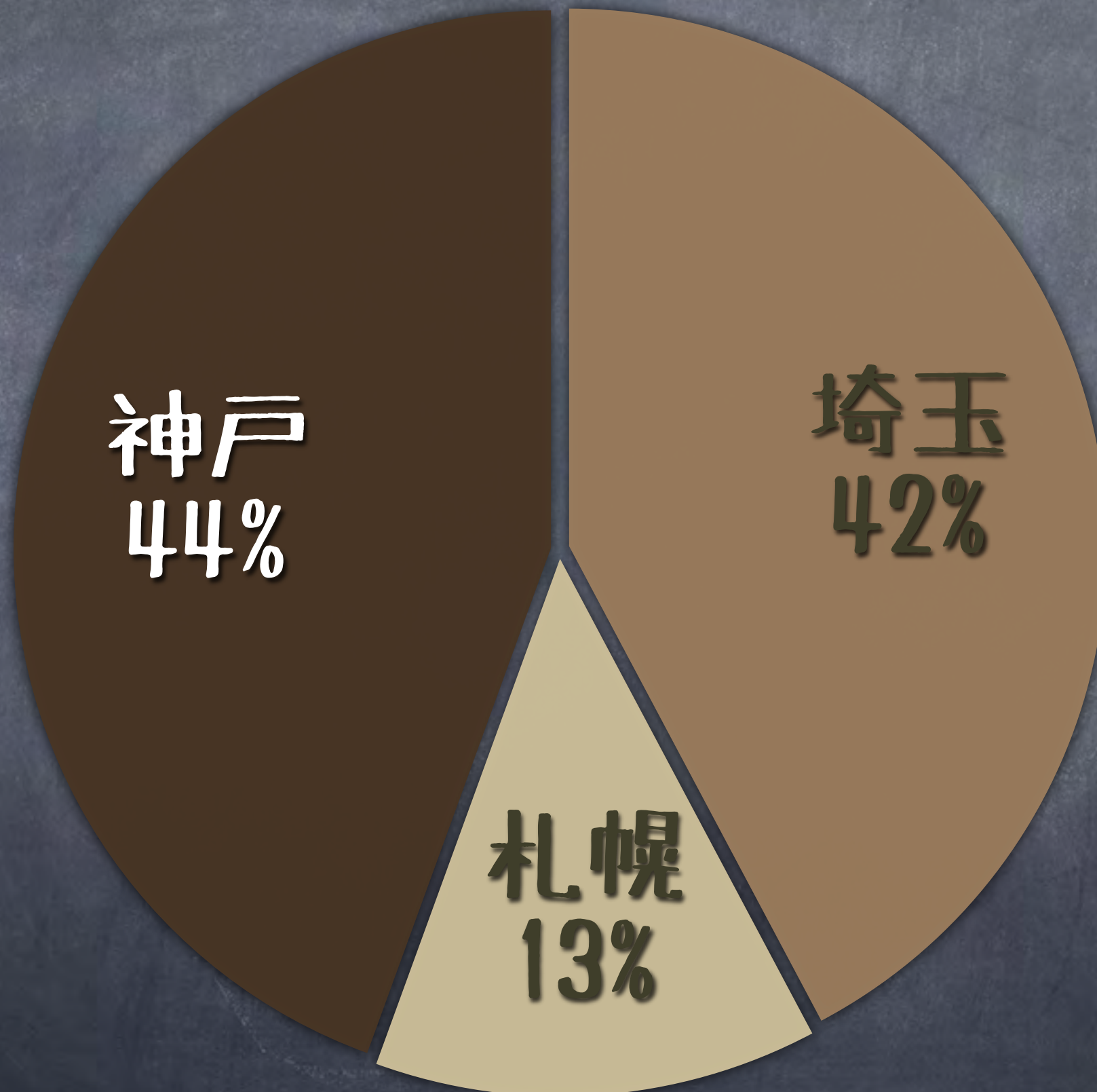
2001年～県・市のまちづくりアドバイザー

2008年～小規模集落元気アドバイザー

2009年 独立

「合同会社 人・まち・住まい研究所」
設立

あさみの成分表



自己紹介（その2）

資格・活動：一級建築士・兵庫県建築士会
神戸まちづくりワークショップ研究会
兵庫ヘリテージマネージャー
東日本大震災復興まちづくり支援

得意分野：建築設計（住宅, 公共施設, リフォーム）
工業製品等のデザイン
多くの人々の合意形成サポート
（コミュニケーションの潤滑剤）
人の話を聞くこと
聞き書き
（ファシリテーション・グラフィック）

自己紹介（その3）

主な業務

- ・ 主に兵庫県からの委託による集落支援（多数）
- ・ 景観計画等策定支援（兵庫県内各地）
- ・ 神戸市の委託 建築協定策定支援
 まちづくり協定策定支援
 地域津波防災計画策定支援
- ・ 神戸市東灘区 マンションコミュニティ支援事業
- ・ 西宮市の委託 エコいえアドバイザー業務
- ・ 住宅設計 住宅（戸建・マンション）リフォーム設計
- ・ 公共施設設計 元町映画館・郷土資料館
 自治会館など

元町映画館

お金が全くないが
設計してもらえないか

映画館なんて一生に一度

やりましょう！

映画館ってのは
建築基準法で一番ややこしい

建物を買うときに
相談してくれれば…

苦節4ヶ月

そんなこんなで



元町映画館オープン

安く仕上げる工夫の数々

「参加型の映画館づくり」



カーペット自力施工

Hitomachi Sumai Labo.



ボランティアさんたち

Hitomachi Sumai Labo.

自力施工ってのはステキ

作業は楽しいし

なにより

愛着がわく

大事に使ってもらえる



椅子は東京の廃館した映画館から

Hitomachi Sumai Labo.



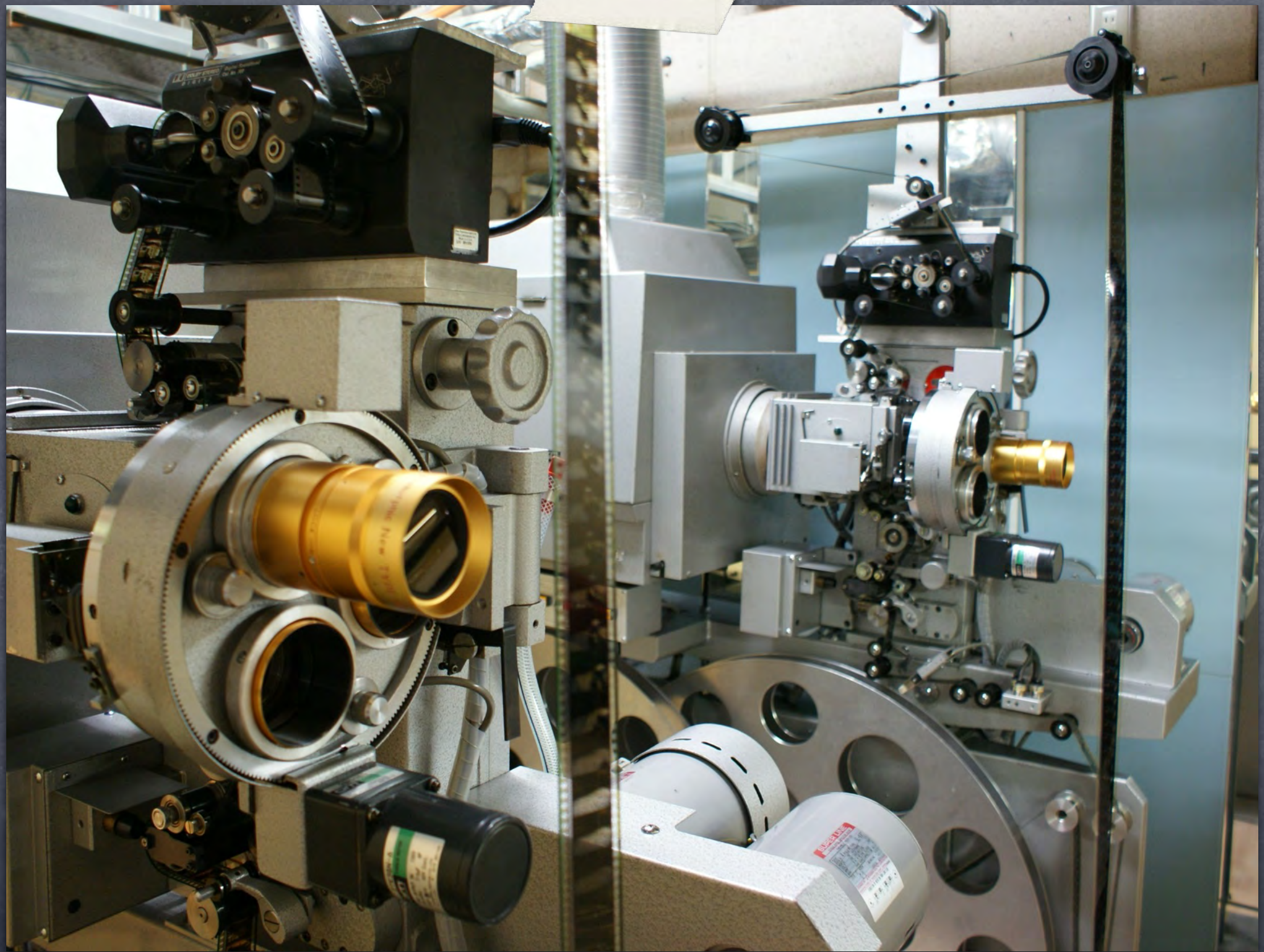
映写機搬入（これは東北から）

Hitomachi Sumai Labo.



カーテンも自力施工（奈良から）

Hitomachi Sumai Labo.



映写機（かっこいい）

2年後に2期工事も終わり
2階ロビーも完成



2階待合ロビー



試写室～倉庫

Hitomachi Sumai Labo.

元町通り商店街の4丁目に
あります
ぜひ応援して下さい

さて本題に移しましょう

本講座の全体像を
説明しておきます

講義の目標

会議・会合・話し合いが
上手にできる人にな
りたい！

何を学ぶか

- ・ よりよい話合いについて学ぶ
(ワークショップ入門など…)
- ・ ファシリテーションの基礎を学ぶ
- ・ 実際の場での実践方法を学ぶ
- ・ アイデアの出し方を学ぶ
- ・ 議論の共有の方法について学ぶ

ちょっとまで...

ここで用語解説を

この講座でよく出てくる
言葉のうち
大事なものを
ざっと説明します

ワークショップ

この講座でよく出てくる話合いの方法
ワークショップにも様々な種類がある

ファシリテーション

ワークショップを上手に進める方法
ファシリテーターというのは上手に
進める人のこと

戻ります

何を学ぶか

- ・ よりよい話し合いについて学ぶ
(ワークショップ入門など…)
- ・ ファシリテーションの基礎を学ぶ
- ・ 実際の場での実践方法を学ぶ
- ・ アイデアの出し方を学ぶ
- ・ 議論の共有の方法について学ぶ

ただし...

私の講義の限界

ワークショップの運営や
ファシリテーションに
ついては
なるべく詳しく
お話をしますが...

私の講義の限界

ファシリテーションの
技術をしっかりと
身につけたい
という皆さんには
不足かも知です

それから...

まちづくり塾なので…

話の舞台は「まち」とか
「地域」になります

会社とか学校で起きること
との話にはしません

(適宜、置き換えて理解して下さい)

繰り返しますが…

講義の目標

普通の人が
話合いの上手な人になる

これが目標です♪

講義の進め方

受講者参加型授業を
目指します！

半分は講義（レクチャー）
半分は演習（ワーク）

皆さんが積極的に
参加して下さいと…

この講座は
より充実したものに
なるはずです

ぜひぜひ
主体的にご参加を！
いつでも質問OK
チャチャ入れOK
楽しく行きましょう

スケジュール

- 第1回 (9/17) 地域における話し合い入門
- 第2回 (10/15) ファシリテーションの基礎
- 第3回 (11/12) 組織経営・場の活性化のコツ
【ゲスト講師：辻信一】
- 第4回 (12/17) アイデアの湧き出る会議入門
【ゲスト講師：池山敦】
- 第5回 (1/21) 皆の納得を引き出すまとめ方
- 第6回 (2/18) 地域会合の運営・演習

皆さんの
ご要望によっては
この通り進まないかも
知れません

変幻自在な講座 (の予定)

できるだけ充実した
講義内容にしたいと
思います

毎回の授業アンケート
にご協力下さい
辛口OK♪

いろいろな約束事 注意事項・お願いなど

約束事など

- ・ 座席については次回以降自由とします。
(場合によってはテーブルの配置が変わっていたりする場合かもしれませんが、どこに座ってもらっても結構です)
- ・ 携帯は音が出ないようにして下さい。
- ・ 快適に過ごせるよう、遠慮なく意思表示を。
- ・ トイレはいつでもOKです。
- ・ 講義中の質問はいつでもOK！むしろ歓迎。
- ・ 私の講義は全て著作権フリーです。
- ・ スライドの撮影は必要ありません。

お願い①

- ・皆さんの写真を撮影することがあります

【西宮市役所】

- ・記録のために写真を撮ります
- ・広報・宣伝のために写真を公開することがあります
- ・できるだけ個人が特定できないような形で公開

【講師 & スタッフ】

- ・講師や会社のブログ・Facebookなどで写真を公開することがあります

もしも、写真にうつるのは気が進まないという
方がいらしたらお申し出下さい

お願い②

- ・ 本講座は**託児可能**です
(遠慮なくお申し出下さい)
- ・ スタッフの手配のため、2週間程度前までにお申し出いただけると助かります

さて、受講の準備が
整いました

ここまでの内容で
質問のある方は
いらっしゃいますか？

では講座のスタートです



まちづくり人養成講座

～新しい時代の話合い入門～

第1講

2014年9月16日

人・まち・住まい研究所 浅見雅之

皆さんが
実際に地域づくりの現場で
合意形成をしていく上で

最も重要な課題って
なんでしょよね？

それは...

合意形成の場で重要になること

円滑なコミュニケーションの方法



つまり

話合いがうまくいくかどうか

じゃないかと思います

実は
私のお仕事はここから
スタートしています

まちや、地域で
皆さんが幸せに暮らす
ために必要なのは
話合いの技術じゃないか
と想着てしまったのです

さて...

実際に地域に行って

「話合いがきちんと
できてない」とダメ
ですよね…」と言うと

地域の自治会長さん
などには
こう言われます

「いやいや、何をおっしゃる」

話し合いはちゃんと
できていますよ！

あら…ほんとですか？

ちょっと考えてみましょう

地域の話合いは
ちゃんとできてる？

地域の話合いの難しさ

■ 地域にはとても**たくさん**の**人**が住んでいる

・ **意見がそれぞれ違**うのはあたりまえですよ

■ 地域にはとても**たくさん**の**人間関係**がある

・ **利害関係が複雑**にからまってるかも知れないです

→ どんな結論が出ても不満が残る人が出るのは当たり前かも知れないですね

さて、地域の
意思決定の現場では
どんな決め方が
されているのでしょうか？

地域における結論の決め方

■世の中にはいろいろな決め方があります

- ・ **多数決**で決めてもいいかも知れない
- ・ 自治会長さんが**自分の意見で決めちゃう**とかもある
- ・ **役所が押し付け**てくることもある（笑）

どんな決め方をするにしても…
皆さんよく言いませんか？

みんなで決めたこと
なんだから
守ってもらわんと！

あれ？

ちょっと待って！

それ...

ちゃんと皆で決めた
ことになりますか？

オレは賛成してないぞ！

とか

そもそも私の意見と違う！

とか

って
後から言い出す人…
いほせんか？

じゃあ、いったい...

皆で決めるって
どうということ
なんでしょよね…？

話はちょっと飛びますが...

参加型社会がやってきたと
聞いたことありませんか？

「参画と協働」とか
よく言いほせんか？

お役所が好きな
フローズですネ…

役所は**お金ない**から
自分たちでできることは
自分たちでしてね...
みたいな

そういうのはどうかと
思いはすが...

おっと...

参加型社会の話でした

上の立場の人が命令したり、
優位な意見の人が誰かを説得したり…
そんなふうにもノゴトが決まっていく社会ではなく

ひとりひとりが主体的に関わり、相互に連絡し、
フラットな関係の中で合意していくことが求められる

これが参加型社会

そもそもはNPOとか
ボランティア組織など
そもそもがフラットな人達の
意思決定のやり方ですが

最近では企業でも
変わろうとしているところが
増えています

参加型社会で大事な「納得」

「誰かが誰かを説得する」のではなく
皆で問題を共有して、きちんと話し合う
→そういう関係づくりが大切



つまり

「内容」を伝える（理解させる）だけでなく
「共感」や「納得」を生む必要がある

皆で決めるって
こういうことかも
知れませんか

ここで「**納得**」の話を
しておきますね

納得ってなんでしよう？

共感と納得は違います

「仕方ないから納得」
はあっても、

「仕方ないから共感」
はない

理解はできるけど
納得できない！！

共感はできないけれど
納得しておこう...

こう考えて、合意の強さを
整理してみると

共感 > 納得 > 理解

こんな感じ？

共感 > 納得 > 理解

考えが
同じだ

意見の違いを
理解した上で
同意する

内容が
分かる

皆で決めるっていうのは

この「納得」を

できるだけ引き出す

作業と考えます

最初に

「ワークショッップ」

という言葉が

出てきました

「ワークショッップ」

ってなに？

と思う人も多いかも

知れないけど…

この「納得」をできるだけ

有効に引き出す手段が

「ワークショップ」

だとしたら、少しは

「ワークショップ」に

興味が湧いてきませんか？

そして「ワークショップ」

を運営する技術が

「ファシリテーション」

というわけです

今のところは
そういう理解で
お願いします♪

さて...

そもそも何の話を
してたんでしたっけ？



話合いがちゃんと
できてるかどうか
って話でしたね

そこから
「皆で決めるってどういうこと？」
って話になったのでした

ずずずっと話を戻します